

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：横浜市岩井保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：長谷川 マキ	定員（利用人数）：98(101)名	
所在地：〒240-0023 横浜市保土ヶ谷区岩井町238		
TEL：045-713-1790	ホームページ：	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：1972年06月01日		
経営法人・設置主体（法人名等）：横浜市		
職員数	常勤職員：27名	非常勤職員：28名
専門職員	（専門職の名称）：名	
	保育士：39名	
施設・設備 の概要	（居室数）	
	居室：0歳児室	（設備等）
	居室：1歳児室	設備：調理室
	居室：2歳児室	設備：事務室
	居室：3歳児室	設備：乳児用トイレ
	居室：4歳児室	設備：多目的トイレ
	居室：5歳児室	設備：園庭
居室：一時保育室		

③理念・基本方針

<理念>

子どもたちが、人とのつながりの中で、いきいきと自分の力を発揮できるよう支えます。

<基本方針>

1. 子どもたちの主体的な活動を大切にし、持っている力を十分に発揮できるよう援助します。
2. 保護者や地域の子育てを支援します。

<園目標>

いきいき輝く 心とからだ
ともに育ちあうなかま

④施設・事業所の特徴的な取組

<横浜市岩井保育園の特徴的な取組>（基本情報I-3の記載事項）

- 高台にある風通しの良い保育園。ゆったりとした園庭には滑り台や2か所の砂場、畑などがあり、ピオトープではメダカを育てています。

- 一時保育事業、子育て支援事業を通じて地域の子育て支援、相談にんでいます。
- 職員研修や保護者アンケートを通じて、定期的に保育の見直しを行っています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年04月12日（契約日） ～ 2024年01月10日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（2019年度）

⑥総評

【横浜市岩井保育園の概要】

●横浜市岩井保育園（以下、当園という）は、昭和47年に横浜市が開設した認可保育所です。市立保育所のため運営は横浜市が行っています。横浜市の方針「市立保育所のあり方」に沿って、保育の質の維持・向上及び地域における子育て支援の充実に向けた取組（園庭開放、育児相談、育児講座、交流保育、一時保育等）を進めています。

●当園は、JR湘南新宿ライン・JR横須賀線の保土ケ谷駅より、徒歩10分程の高台に位置し、園周辺には、小学校、中学校、高齢者施設が隣接し、自然豊かな公園も多く、子育て世代に適した環境です。園舎は高台に建てており、日当たり・見晴らしが良く、空へ広がる伸び伸びとした開放的な空間が印象的です。園庭にはミカンや柿の木等が植栽され、豊かに実をつけています。また、手作りのビオトープには、メダカやタニシが育ち小さな自然の循環が出来上がり、周囲には水草や苔等が自然の力で維持されています。

●園の定員は98名で、0歳児～5歳児までの保育を実施し、現在101名の園児が在園しています。園舎は、鉄筋コンクリート4階建ての市営住宅の1・2階部分を使用しています。各年齢の保育室の他、遊戯室や一時保育室を有し、L字型の園庭は広々としており、砂場（2か所）やジャングルジム、滑り台、鉄棒等の固定遊具の他、プールも設置されています。また、畑やプランターでは四季の花々や野菜を育てています。園庭でそれぞれに好きな遊びを十分に楽しみ、伸び伸びと体を動かし、子どもたちの歓声と笑顔が溢れています。

◇特長や今後期待される点

1. 【子どもの主体性を尊重した保育の実践】

横浜市岩井保育園（以下、当園という）では、園目標「いきいき輝く 心とからだ ともに育ちあうなかま」を掲げ、全職員一丸となって子ども一人ひとりの気持ちに寄り添い、子どもの健やかな成長を支え、子どもたちが気持ち良く・楽しく過ごせるよう援助しています。職員は、常に「子どもファースト」（子どもを守り育てることを最優先する考え方）で、子どもが「何をしたいのか」「何を必要としているのか」を職員間で情報交換し、各年齢の発達を考慮した保育計画の中に組み込んでいます。今年度、4歳児クラスは、廃材を利用した空き箱制作を思い思いの発想で楽しみ、5歳児クラスは、絵本「そらいろのたね」から発想し、「自分たちで劇やりたい」と声を上げ、衣装も手作りしています。また、異年齢保育も活発に取り入れ、3歳児～5歳児の縦割りグループで、散歩、リズム運動、行事を楽しんでいます。異年齢保育を通して、絆が深まり、年長児は年少児の手を取り優しくサポートする姿が見られます。当園では日々の活動を通し、園目標の達成に向けて様々な保育活動に取り組んでいます。今回の利用者家族アンケートには、「子どもがのびのび遊べている」・「子どもの個性を大切にしている」・「先生が皆優しい」等の声が多く寄せられ、保育への満足が窺われます。

2. 【園内研修の充実と人材育成】

当園は横浜市立保育園のため、市の施策に沿った人材育成体系の下で、職種やキャリアに応じた様々な研修が企画され、計画的に実施しています。全職員（会計年度任用職員を含む）で、積極的に研修に参加すると共に、知り得た知識や技術等を園内研修で共有し、保育に生かしています。今年度は、横浜市こども青少年局作成の動画「よりよい保育のために」を全職員で見て、子どもの最善の利益を守り、適切な保育を行うためにはどうすればよいのかの話し合いを進めています。また、当園の保育実践の振り返りは、ドキュメンテーションや保育ウェブを用いて行い、視覚的にも分かりやすく、職員間での話し合いをスムーズに進めると共に、計画の進捗状況のみではなく、子どもの心身の育ちについても取り上げ、職員間で共有し、適切な援助につなげています。幼児クラスの「今日の保育」は、ドキュメンテーションで保護者に分かりやすく知らせ、好評を得ています。ドキュメンテーション日誌や発信の取組は、令和3年に「チーム横浜 副市長賞」の表彰を受けています。

3. 【地域子育て支援の推進】

当園は、地域ニーズに応じて保土ヶ谷区公立保育園で唯一、一時保育を実施しており、他、園庭開放、絵本の貸し出し（いわっこ文庫）、交流保育、育児講座、育児相談、子育てサロン（いわっこルーム）等、育児支援事業を計画・実施をしています。また、区内サークル「ほがらか育児講座」に、園長や保育士が出向いて育児相談の実施や、区内の子育てイベント「ほがらか広場」の開催を企画・実施する等、積極的に地域子育て支援の取組を進めています。当園の情報は、保土ヶ谷区の情報通信、横浜市ホームページ、保土ヶ谷区子育て拠点（こっころ）等に随時提供しています。公立保育園ならではの豊富な人材を生かし、保育園の専門的な知識や技術を活用し、子育てに必要な支援を行っています。

4. 【施設・設備への対応】

事業経営上の優先課題として、施設の老朽化が挙げられます。当園は、4階建て市営住宅の1・2階部分を有し、開設から50年以上経っています。耐震的には問題はないと診断されていますが、施設・設備面は老朽化が否めません。横浜市の施設のため、維持管理は市が担っていますが、小破修繕に関しては園に配当された予算の中で、優先順位をつけて修理・改善を図っています。園舎内外とも清掃が行き届き、きちんと整理されており、保護者からも「よく掃除してあり気持ちが良い」・「きれいに保たれている」等の声が多く寄せられています。今後とも安全・衛生面への十分な配慮が必要と思われませんが、引き続き子どもたちの安全な施設としての維持・管理に期待します。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 横浜市岩井保育園

《第三者評価を受審した感想・自己評価での取組の感想》

横浜市岩井保育園では、第三者評価受審は、日々の保育を客観的に評価していただき保育の振り返りをする良い機会と捉え、全職員の共通理解と保育の質の向上を目指し、自己評価等に取組みました。

保育内容に関する項目について職員個人で自己評価することから始め、その結果を持ち寄り、少人数グループで日々の保育と照らし合わせながら意見交換をしました。その後、全体での評価を決定する話し合いに取組みました。

職員同士、主任や園長も一緒に話し合いを重ねる必要があり、それにより保育の振り

返りを丁寧にでき、充実した時間となりました。また、話し合いや各種マニュアル・手順等の見直し等を通して、職員の意識が高まり、保育の質の向上やより良い保育につながる事ができたと感じています。

そして、保護者の皆さまからいただいたアンケートにおいて、高評価をいただいた項目については、職員の自信につながりました。改善が必要なことについては今後、解決に努めて参ります。

今後も「子どもたちの最善の利益」を守りながら、日々の保育に取り組んでいきたいと思ひます。

《評価後取組んだ事として》

1. 評価結果、保護者アンケートの回覧、内容の把握
2. 評価の低かった項目について改善の検討
3. 保護者アンケートのご意見を基に改善の検討
 - ※園からのお知らせについて見直し
 - ・持ち物等、早めの時期にお知らせをする
 - ・園だより、コドモン配信を活用
 - ※園行事について見直し
 - ・来年度行事の日程を近隣小学校と調整し決定できるよう連携を取る
 - ・来年度、リズム運動等、保護者参加の機会（自由参加）を設ける

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり